

科目名	担当教員名	学期
職業倫理 Business Ethics	長谷川 直哉	冬季 集中
目的	<p>国連責任投資原則(PRI:Principles for Responsible Investment)、ISO26000 (組織の社会的責任)、スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンスコードなど、CSR (企業の社会的責任) や Business Ethics (ビジネス倫理) に関する世界的潮流を俯瞰し、サステイナブル社会において求められる企業と社会の関係性、組織における個人の倫理感について理解を深めることをめざします。</p>	
概要	<p>日米欧の Corporate Social Responsibility および Business Ethics に関する基本理論を概観した後、倫理的な企業および倫理的な企業家に関するケーススタディーを通じて組織と個人の倫理観のあり方について検討します。</p>	
到達目標	<p>Social Responsibility や Business Ethics に関する基本理論と世界的な潮流を理解し、高度職業人として直面するさまざまな問題を解決するうえで必要となる倫理的価値基準を涵養します。</p>	
成績評価の 基準と方法	<p>期末レポート (80%) と授業への貢献度 (20%) を総合し、原則として上位者から下記の割合で相対評価により成績評価を行います。 20% : A、40% : B、30% : C、10% : D または E (不合格)</p>	
履修条件	<p>特にありません。</p>	
<b>授業計画</b>		
第1日	<p>1限：①ガイダンス：企業と社会の関係性について 2限：②近代社会の勃興と経済倫理 3限：③企業社会の変容と CSR 勃興 4限：④ケーススタディー I (日本初の公害問題への対処：住友財閥と古河財閥から学ぶ)</p>	
第2日	<p>1限：⑤新自由主義 vs 第三の道 2限：⑥CSR/Business Ethics の潮流と制度化 (ISO26000) 3限：⑦ステークホルダーコミュニケーション 4限：⑧ケーススタディー II (人を大切にす経営の原点：郡是製糸と倉敷紡績から学ぶ)</p>	
第3日	<p>1限：⑨欧州の CSR/Business Ethics 戦略 2限：⑩欧州の CSR/Business Ethics 戦略 3限：⑪公共する企業家群像 (CSR 先進企業家ケース) 4限：⑫ケーススタディー III (企業のサステイナビリティとは何か：豊田自働織機と遠州織機から学ぶ)</p>	

<p>第4日</p>	<p>1限：⑬責任投資（SRI・ESG投資）を巡る動き                  2限：⑭共通価値の創造（CSV）                  3限：⑮ケーススタディーⅣ（現実を直視する）                  （共通価値の創造〔CSV〕とは何か：本田技研と安田火災から学ぶ）</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【テキスト】 レジュメを毎回配布します。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『企業家活動で辿るサステイナブル経営史』長谷川直哉編著（文眞堂、2016年）</li> <li>・『CSVビジネス時代のイノベーション戦略』藤井剛著（ファーストプレス、2014年）</li> <li>・『自然資本経営のすすめ：持続可能な社会と企業経営』谷口正次著（東洋経済新報社、2014年）</li> <li>・『ビジネスの倫理』梅津光弘著（丸善、2002年）</li> <li>・『企業倫理をどう問うか』梅田徹著（日本放送協会出版、2006年）</li> </ul>
<p>その他 特記事項</p>	<p>特にありません。</p>